

平成20年1月28日

各 位

国際紙パルプ商事株式会社  
代表取締役社長 鈴木 光

## 古紙パルプ配合率について

今般、製紙メーカー各社が製造しておりました再生紙に関しまして、製品の一部において古紙パルプ配合率の公称と実態に乖離があるとの発表がありました。

環境問題が社会の重要課題となっている中、このような事態を招いたことにより、お客様はじめ関係各位に多大なご迷惑をお掛けいたしましたことを謹んで深くお詫び申し上げます。

弊社といたしましてもこのような事態を重く受け止め、判明時より、直ちにコンプライアンス委員会を中心に再生紙問題対策チームを立ち上げ、個別に対応を行ってまいりました。弊社では、お客様への影響を第一に考え、現場主義のもと個々にフェイス to フェイスにて綿密な打ち合わせを行い、対応を推進してまいりました。

環境への配慮を考え、お客様の了承のもとそのままご使用頂くかレッテルを正しく表示してご使用頂いております。また、代替品の確保に最大限の努力をしております。

さらに、弊社取扱商品について改めて配合率等の管理徹底を製紙各社に強く要請するとともに、お客様の信頼にお応えできますよう、尚一層努めてまいる所存でございますので、何卒ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせは下記までお願い申し上げます。

「コンプライアンス委員会」

「経 営 企 画 室」 (TEL03-3542-4166 担当：山崎)

以上